

# 小山高校進路通信

令和元年度第7号

2020. 3. 24

静岡県立小山高等学校進路課

## 進路講演会特集号その2 ～ 卒業生編

今回の進路通信は「進路講演会特集号その2」と題して、小山高校を卒業してそれぞれの進路で夢に向かって頑張っている先輩方のアンケートをお届けします。先輩方の熱いメッセージを受け止めて、今自分が何をすべきか、よく考えてください！

### 質問の内容

< >内は進学・就職先

- ① あなたは今の進路をどうして選びましたか？その進路（進学先・就職先）でかなえたい夢を含めて教えてください。
- ② 今の進学先／就職先のやりがい／楽しさはどんなところですか？
- ③ あなたは自分の進路を実現するために、どのようなことを頑張りましたか。うまくいった点、失敗した点も含めて教えてください。
- ④ あなたが後輩に対して伝えたいアドバイスを書いてください。

### <静岡大学教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育学専攻 数学教育専修>

① 私は将来静岡県の高校教員になりたくて静岡大学教育学部を選びました。教員になろうと思った理由としては、子どもの可能性を引き出して子ども一人一人の学校生活や人生を楽しいものにしてもらいたいということからです。また、私が中学校や高校に通っていた時、たくさんの尊敬できる先生に出会い、自分も将来このような先生になりたいと思ったからです。

② 私の進学先でのやりがいは教育実習です。教育学部の学生は一部を除いて小学校と中学校、それぞれ合計3週間ずつ教育実習を行います。そのときに、授業の構想や実践、反省、児童・生徒との関わり方など現場の教員がどのように子どもと生活しているのか、仕事内容はどのようなものがあるのかなどたくさんのことを学べたとても濃い時間がありました。その中でも、子どもに「先生の授業楽しかったよ！」「大学出たらこの学校の先生になって！」と言われたときにやりがいを感じました。

また、大学の数学の講義がとても面白かったです。例えば高校の時に習った定理や公式が成り立つことで実生活にどんな影響を与えているのかなどを知ることができました。中学や高校のときには、数学と実生活が直接的に結びついていることをあまり感じませんでしたが、大学の講義でその繋がりをたくさん知ることができました。他にも問題を友達と自由に解決する時間なども設けられ、楽しく問題に取り組むことができました。

③ 私が自分の進路を実現するために頑張ったことは、一つだけです。それは当たり前ですが、勉強です。教員になるためにはまず大学を卒業することが前提条件です。そしてその中でも静岡県の教員になるなら静岡大学だと思い、一生懸命勉強して合格しました。そこまではうまくいったのですが、失敗した点は高校の時にもっとボランティア活動や生徒会活動、委員会の委員長などを経験しておきたかったということです。大学に入ってもう3年がもう終わろうとしています、自分が教員になって生徒に語れることは何かと考えた時に「あんまり無いんじゃないか」と感じてしまいました。だから高校の時には勉強や部活だけを頑張る

のでなく、ほかのことも積極的に経験していくべきだったと思います。

④ 私が高校生の皆さんに伝えたいことは2つあります。

進路先の学校選びや就職先を選ぶときには、しっかり観てから選んでください。私は今、塾でアルバイトをしていますが、だいたいの高校生は自分のやりたいことができる学部の中で、ここが偏差値高いから受ける、というように、やりたいことと偏差値だけで大学を選んでしまいます。しかしそうではなくて、実際にオープンキャンパスやインターンシップなどに行ってみてください。そしてここで重要なのが、観るポイントです。大学の授業はどんな感じなのか、仕事内容にはどのようなものがあるのか、その場にいる人たちの様子などを観て決めて欲しいと思います。これは友人から聞いた話なのですが、その友人は偏差値が割と高い国公立大学に入りましたが、その大学の学生はほとんどが授業に来なかったり、来ても授業中にスマホをいじったりしていて、真面目に授業を受ける人が少なかったそうです。そういう環境の中にいると、周りに飲み込まれて自分の成長を止めてしまう人もいます。そうならないためにも、進路先は丁寧に選んでいくことが大事だと思います。

そしてもう一つ伝えたいことは、勉強のことについてです。アルバイト先での経験なのですが、ある生徒はあまり英語が得意ではなく、模試や学校の成績が良くありませんでした。そして高校三年生になり、その生徒は部活も引退して本格的に受験勉強を始めました。そして毎日のように「先生！今日も〇〇時間頑張ったよ！」と報告してきました。しかし勉強の時間数は多いはずなのに、模試の成績はあまり上がりませんでした。そこで私が「単語とか文法覚えてる？」と聞いたところ「はい！単語帳と文法書使って覚えてます」と言いましたが、実際にそこからいくつか出してテストしてみたところ、覚えた気になっていただけでちゃんと答えられません。これはまずいと思い、その日から毎日単語や文法のテストをしていったところ、「今まで長文ほとんど読めなかったけど読めるようになったよ！」という報告をしてくれるようになり、第二志望の大学に受かることができました。

この話から何が言いたいのかというと、**理解した気になっていないか、ちゃんと覚えているのかということを今一度確認しながら勉強してほしい**ということです。「勉強時間が〇〇時間」ということよりも、自分がどれだけ知識を蓄えられたのか、どれだけ問題に対する視点を持てたのかということ重視してもらいたいと思います。そして早めに勉強することに越したことは無いので、どんどん勉強してください。しかし高校生活は一度きりなので、たくさん遊ぶことや部活を頑張ることなども忘れずに、楽しく過ごしてください。

## <常葉大学保育学部>

① 私は、自分が保育園に通っているときに自分の担任の優しい先生のが大好きで、憧れを持つようになりその頃から保育士になりたい！と思い15年以上その夢を追い続けてきました。

高校受験の時には小山高校が保育の進学率が高いと知り、小山高を目指しました。そして常葉大学を目指した理由は、常葉大学の保育職の県内就職率が8年連続100%であったこと、校舎が新しくなり、質の高い環境で学べること、また静岡県の保育園、幼稚園の園長先生には常葉大学出身の方が多く、実習できる園がたくさんあることです。在学中の実習で、自分がどんな保育をしたいか、どんな保育士になりたいかを考え、幅広い園の中から実習園を選ぶことができます。

そして、かなり大きく、現実離れた夢だとは自覚しておりますが、私は中学生の頃から自分の保育園を作りたい！と思っていました。理由は、自分が考える子どもにとっての最善の環境を、自分の手で実現したいと考えているからです！園長先生になるためには四年制大学に通って幼稚園教諭第一種という資格を取得しなければいけません（短期大学で取れる幼稚園教諭第二種では園長にはなれません）。そのため私は四年制大学を選びました。

② 常葉大学の楽しさは、学生のための環境がしっかりと構成されており、ひとりで勉強したい時も、友人

と協力して勉強したい時にも適したスペースが用意されており、状況に応じて最善の環境で勉強することが出来ることです。好きに机の形を変えたり、ホワイトボードの壁に自由に書いたり、何をするにも必要なのは学生の想像力、というところがとても楽しいと思います。

やりがいは、自分の学びたい分野について勉強していけることだと思います。私の大学の保育学部はクラス分けがされているので、クラスの友人たちと授業を楽しんだり、協力したりしながら、仲を深め、同じ夢を目指して毎日過ごせるというのがやりがいだと思います。

ピアノのテストはクラスの全員の前で発表したり、ゼミでは手遊びを見せあったりします。刺激をたくさん貰うことができ、とっても楽しいです。

③ 私はAO受験でチャレンジすることが決まっていたので、とにかく自分の考えをまとめることを頑張りました。**原稿を作成して暗記しても面接官に情熱が伝わりにくいと思ったので、誰にどんな質問のされ方をしてもブレない自分の芯を作ることに力を入れました。**私の芯は、保育士になりたい！だけではなく保育園を作りたい！でした。相当大きな夢でも、面接官に気持ちが伝われば決して笑われることはありません。自分の気持ちを全て伝えるために、自分の芯を作ることはAO受験で役に立つと思います。自分の芯が出来れば、どんな質問にも答えることができます。

また、他の人と被らないことを頑張りました。同じ保育士になりたい、という夢でも、きっかけや理由は人それぞれだと思います。私は、私にしか答えることのできない理由やきっかけを話せるように、しっかりと自分の気持ちと向き合ってAO受験に備えました。

そしてどんな質問されても焦らないように、質問の的を絞らないことを心がけました。質問を想定していると、予想外の質問が来た時に焦ってしまうので、必ず聞かれる志望理由や自己PRだけは繰り返し練習して、面接練習の時にはたくさんの先生にお願いして、様々な質問に答える練習をしました。

失敗した点はありませんが、後悔したことが1つだけあります。それは部活動との両立です。私は、9月にAO受験、12月に奨学生入試を受けました。そして10月に最後の大会がありました。みんなが練習している中、私は残って勉強。みんなが最後の大会で試合に出てコートに立つときは1人で応援席でした。

もちろん受験は大切です。失敗なんてしたくないから、最優先で頑張りました。でも、部活動が今の仲間と出来るのも、高校生が最後です。私は高校生に戻れたら、受験も部活動も両立して頑張ると思います。それくらい、今でも後悔しています。

ぜひ、後輩の皆さんは、自分の未来のために受験や就職を最優先して努力すると共に、高校生の今しかできないことを、後悔のないように全力でやってください。必ず、一生の思い出になります。

④ 後輩の皆さんに伝えたいことがあります。**夢がある人は、なるべく早く進路決定までの流れを決めてください。**受験方法や試験日、合格発表や入学金の振り込み期日まで全てを把握して、自分の時間の使い方を考えてください。いつ頃まで部活動に時間を費やしていいのか、いつから受験勉強を始めるべきなのか、これは受験方法や時期によってだいぶ変わってくるので、早めに自分にあった受験方法を決めておくことがいいと思います。(私は、テストに向かうより話す方が、自分の気持ちを伝えられると思っていたのでAO受験にしました！)

そして、部活動を含め、高校生の間は自分が部活動や趣味など、やりたいことを全力でやってください！いつかそれが自分の強みとなって、個性を輝かせるための武器になります。それは分野別指導も同じです。**私は保育の分野別指導を受けましたが、保育の実情について学んだり、ノートをまとめたりすることで自分の知識もつくので、頑張ってたよかったな、と大学生になった今でも思います。**AO受験でも、分野別指導の話をするとう面接官が興味を示してくださいました。これも1つの強みだと思います。

あとは、受験当日に向けて少しずつ気持ちを作っていくてください。私は、当日確実に緊張すると思ったので、本番に近い形で何度も練習をしたり、右手でドアをノックする、と決めたり、受験の前から当日のことを頭に入れて生活していました。本番はしっかり右手でノック出来たし、緊張しても笑顔で入室、退室が

出来ました。これはオススメです。

最後に、先述しましたが、今やれること、やりたいことを後悔のないよう全力で頑張ってください。高校生という時間は、就職や進学のためだけの時間ではなく人生の青春を存分に味わう時間だと思っています。今いる仲間と思いっきり練習して怒られて泣いて笑って喧嘩して、仲直りして絆を深めて、ということが出来るのは本当に今だけです。仲間と最高の思い出を作ってください。進路は余裕を持って準備をして、自分を信じれば必ず叶います！応援しています！

## <明海大学外国語学部>

① 私は、中学校の頃から教師になりたいと思っていました。その夢を叶えるために、教職課程を履修でき、英語を学ぶことができる大学を 20 校近く列挙し、HP で立地や学費、留学制度など理想の大学を選ぶための様々な項目を比較して今の大学を選びました。

② 受験勉強は大学に入るための勉強で、辛く苦しいものでしたが、今は自分の学びたいことを整った環境で学べ、とても楽しいです。また、進級条件の達成や英検、TOEIC ハイスコアの獲得にやりがいを感じています。

③ 部活を引退し、夏休みから本格的に勉強をし始めましたが、志望校が定められていなかったもので、いまひとつ集中できずにいました。しかし、OCに参加し、大学の公募推薦を受けると決めてからは、目の色が変わったかのように勉強に集中できました。一度、公募推薦などの時期が早い入試を受けてみるのもモチベーションを保つ方法として良いかもしれません。また、受験せずとも自分の気になっている大学の過去問を解いてみるのも良いと思います。

私は夏休みを過ぎても自分の勉強方法を確立できていなかったもので、効率が悪く、時間を無駄に使ってしまっていました。早めに科目ごとの勉強方法をみつけ、本格的にスタートする時にスムーズに取り組めるよう、環境を整えてください。

④ 部活動引退後、学校で勉強したり放課後に残ったりと学習習慣をつくり、勉強しやすい場所をみつけておくと、後々本格的に始める時に楽になると思います。また、相談やわからないことを聞きに行けるような関係の先生がいることで、あまりストレスをためることなく学校生活を送ることができると思います。

## <静岡県立看護専門学校>

① 私は母が看護師をしていたことから、小学生の時から看護師になりたいと思っていました。自分の性格的に、理論を重視する大学というよりは、実技を重視している専門学校で看護について学び、現場に出て仕事をしながら理論を身につけていきたいと感じ、専門学校を選択しました。また、様々な専門学校について調べていくうちに、今通っている学校では、手話を学ぶことが出来ると知り、聴覚障害を持つ友達と手話で会話をしていた経験があることから、障害を持つ人にも寄り添うことが出来るようになりたいと感じ、この学校を選びました。

② 実習では、患者さん 1 人を受け持ち、その患者さんの入院生活で困っていることや苦痛に感じていることを減らすことができるように患者さんと関わっていきます。その中で、座学で学んだ知識や患者さんのためにと考え、実践したことが生かされ、患者さんが笑顔になってくれたり、「ありがとう」と言ってくれたりすることにやりがいを感じます。

③ 学校見学に行った際に、試験の過去問を貰い、英語では長文読解問題が出て、単語の難易度が高いこと、国語では四字熟語や漢字の問題が多く出ることを知りました。これらは私が苦手と感じていたものだったので、重点的に取り組み、試験当日の国語の問題はスラスラ解くことができました。しかし、英語はやはり単語が難しく、読めない部分が多かったため、もっと多くの単語を覚えるべきだったと感じました。

④ 部活動を頑張った経験は、受験勉強や進路先に進んだ後にも生かされると思うので、部活動を精一杯や

り、何事にも諦めずに挑戦することが大切だと思います。また、少しでも興味がある学校には見学に行ってみることが大切だと思います。学校について知ることができるだけでなく、その学校の先輩から勉強や学校生活について話を聞くことができ、良いアドバイスがもらえるとと思います。受験当日にこれをおけばよかったと後悔してしまわないよう、先生や先輩から情報を集めることも大切だと感じました。

## <おだわら看護専門学校>

① 本格的に看護学校に行きたいと思ったのは、高校の時に行った病院のインターンシップです。最終的な夢は、看護国家試験に合格して立派な看護師になることです！

② 看護学校の一年は、私が思っている以上に大変でした。しかし実習などで直接患者さんとコミュニケーションをとったり、その方の疾患について知った上で自分の計画した看護を実践したりすることが、私にとって一番やりがいがあり、そして学ぶことが多いと感じます。楽しい事と言われると少し難しいですが、やはり同じ道を目指す友人に囲まれて過ごしているため、看護を学ぶ環境としてはとても充実した日々を過ごしています。

### ③ <失敗したこと>

私は今通ってる看護学校に一度落ちました(AO入試)。勉強不足や計画性がなかったことが原因でした。

### <やっておいてよかった事>

#### ・手帳をつける

次の受験まで時間があつたので手帳を買い、スケジュールを自分で書き込み毎日の勉強のスケジュールを計画的に立てました。手帳は看護学校に入学してからも、ほぼ毎日使用しています。今から手帳をつける癖をつけておくのは大切だと私は思います。

#### ・先生、友達に協力してもらう

やっぱり一番は先生だと思います。私は本当に数学ができなくて困っていた時にこの先生！という先生を見つけて聞いていました。その時に使っていた参考書には、学校の進路室の中にある物を選んでいました。進路室の参考書は本当に参考になるので、絶対に見るべきです！まだ受験がある友人とも勉強を一緒にして、モチベーションを上げていました。

### <インターンシップ(ナース体験)>

病院のインターンシップ(ナース体験)には必ず行くべきです！

わたしは色々あって複数の病院を回りましたが、とても学ぶことが多いと感じました。私はこのインターンシップに行って、改めて看護師になりたいと感じました。

### ④<解剖の勉強>

生物の授業の内容の中でも、特に身体のそれぞれの内臓器官の役割、心臓の循環の仕組みなどをしっかりと学んでおくのがよいと思います。

### <自分にあった勉強方法を高校生のうちに習得>

わたしは高校の頃、勉強ができませんでした。自分の勉強方法を確立しないまま看護学校に入学して、いざテストとなるととても苦労しました。私なりの勉強方法になりますが、通学時間などの空き時間にはケータイのアプリの国試の過去問を解いたり、テストの2週間ほど前にはレジユメの要点ポイントを、自分なりに教科書を見ながらまとめたりしています。

### <期限を守る癖をつける>

これは当たり前だと思いますが、提出物の期限は必ず厳守する事は大切です。看護師は患者さんの命を守る現場で働く、責任のある仕事なので、高校生のうちから提出物、時間などを厳守する癖をつけるのが大切です。そして、課題などは一つ一つ意味をもって行う事！！

## ⑤最後に

この進路に行く決めている人やまだ進路が決まってない人、それぞれいると思います。決まっている人は、自分が進学したらどのように過ごしていきたいか、何を勉強するか、本当にこの道に進んでよいのか、改めて考える時間があると思います。

決まっていない人、わからない人は、看護であれば実際にインターンシップに行ったり看護師についての仕事などの内容を調べてみたりするのがよいと思います。

自分でなかなか解決出来ないときには、進路相談に熱心な先生が沢山いるので、小山高の先生をおおいに頼ってよいと思います！

勉強も大切ですが高校生活も楽しんでください！

## <静岡県東部総合美容専門学校>

① 将来の夢が美容師になることで、美容師になるためには専門学校に通わなければいけないからです。2年生の2月には美容師国家試験が始まるので、一発で合格できるように、専門学校生活の残り1年を大切に過ごしていきたいと思っています。

② 進学先は、静岡県東部総合美容専門学校です。少人数のクラスなので、先生から1人1人が丁寧にアドバイスを受けることができ、改善することができる事が楽しさの1つです。

③ AOが面接と作文だったので、部活の顧問の先生お2人が協力してくださって、練習をしたことが、合格できた理由だと思います。

④ 試験の対策や練習は早めに行ってください。私は遅くて先生に注意されました。

受験当日は緊張するので、まず必要な荷物などは前日にしっかり用意しておくことで、少しは安心して家を出れると思います。面接がある人は、とにかく教室に入る時の顔から、笑顔を忘れずに😊